



## 診察を受ける前に

受診される時の症状や症状が始まってからの経過は病気の診断にとっても重要な情報です。

私たちのクリニックでは看護師が「いつからどのような症状があるか、どこが痛いかなど」などを診察の前にお聞きしています。お子さまの症状がわかる方が付き添いできないときは、メモなどで発熱の経過や食事量、睡眠の様子などを持ってきていただくとありがたいです。また、他院で処方されているお薬などがあれば、教えてください。

診察では医師が聴診器で胸の音や呼吸の音を聴いたり、身体に発疹が出ていないか、のどの奥が赤くなっているか、などお子さまの全身の様子を診ます。診察室に入る前には、衣服のボタンを外したり、上着を脱ぐなどして、診察しやすいように準備をしてお待ち下さい。

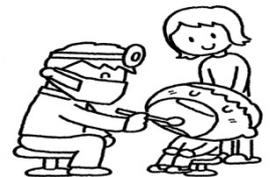
診察によっては、その場でのどをぬぐって検査をしたり、診察台でお腹の様子をみたりすることもあります。のどの奥を診ることを嫌がるお子さまもいらっしゃるので、付き添いの方のご協力をお願いいたします。ひとりで座れないお子さまもいらっしゃいますので、付き添いの方が膝に抱いて一緒におすわりください。

ご兄弟で受診されて、付き添いの方の手が足りない時は遠慮なくスタッフにお声かけください。

## 「早く受診すれば、早く治る!？」

熱が出た、お腹が痛い・・・子供の病気は突然起きるし、一刻も早く診てもらいたい!!・・・みなさん同じ気持ちですよ。

特にまだ言葉の話せない小さな子供の場合はさらに不安になるものです。



早く病院に行けば、早く治るのでしょうか・・・もちろん早く診てもらって「よかった」ということもありますが、発熱してすぐの状態では、まだ見当がつかない、経過をみないとわからない・・・ということも多いものです。

大事なことは、おうちの方がお子さまの様子をよくみていただくことです。高熱があっても、お腹が痛くても、咳や鼻水が出ていても、比較的元気がある、機嫌がいい、食事や睡眠がとれる・・・という場合は急いで受診することはないように思います。逆に熱はそれほど高くないのにぐったりしている、咳はひどくないけど息が荒くて辛そう、いつもと違ってものすごく機嫌が悪くてずっと泣いている・・・そんないつもと違った様子ときは早めの受診が必要かもしれません。

これからも看護スタッフからホームケアや育児に関する情報をお知らせしたいと思います。

クリニック内でもなんでもお気軽に声をかけてくださいね。

